

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://yokohama.hosp.go.jp/school/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	<p>学校の運営の円滑化及び適正化を図るため、学校長が召集し学校運営会議を原則2ヶ月に1回設ける。</p> <p>運営会議メンバーは、学校長、副院長、副学校長、事務長、教育主事、実習調整者、教員、学校長の委嘱する講師若干名（病院医局幹事を担当する者）、健康管理医、事務主任、病院の看護部長、副看護部長、管理課長、企画課長及び経営企画室長である。また、独立行政法人国立病院機構他施設の者を会議構成員として加えることができる。</p> <p>運営会議では、学校の規程の制定改廃、学校の予算の執行計画、教育課程の編成に関する事項、各年度の教育計画に関する事項、学校の講師・実習施設の選定に関する事項、学生募集及び入学に関する事項、学校運営の評価に関する事項、学校の施設整備に関する事項、その他の学校の運営に関し重要と認めた事項、学生の単位・卒業認定に関する事項、学生の休学、復学、退学に関する事項、転入学者の既習単位等の認定に関する事項、学生の就職に関する事項について審議する。</p> <p>外部委員の意見を学校運営に反映させることで学校運営の適正化が図られている。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
横浜医療センター副院長	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	「国際・災害看護」の講師として講義を実施
横浜医療センター看護部長	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	「看護管理」の講師として講義を実施
横浜医療センター事務部長	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	特になし
横浜医療センター医局代表	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	特になし
横浜医療センター健康管理医	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	「疾病と治療Ⅲ（代謝疾患と治療）」「疾病と治療Ⅴ（内分泌疾患と治療）」の講師として講義を実施

横浜医療センター 企画課長	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	「関係法規」の講師として講義を 実施
横浜医療センター 経営企画室長	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	特になし
横浜医療センター 副看護部長	2023. 4. 1 ～2024. 3. 31	特になし
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラムの実施について、教育主事・カリキュラム担当教員・学年担任により内容、方法、進行について毎月カリキュラム会議を行っている。</p> <p>当該年度の授業の実施を踏まえ、次年度に向けてカリキュラム担当教育主事と教員、領域担当教員でカリキュラムの調整会議を行う。その会議後、教員会議にて最終決定する</p> <p>シラバスには、科目名・担当講師・対象学生・開講時期・講義時間・単位数・講師名・科目目標・使用テキスト・評価方法及び各回の授業形態を公表している。さらに、各学年の評価計画を明示している。</p> <p>実習要項に科目名、実習目標、実習内容、実習方法、実習評価基準を明記している。</p> <p>また、学生便覧に成績評価 80～100 点を優、70～79 点を良、60～69 点を可、60 点未満を不可とし、60 点以上を合格とすることを明記している。</p> <p>4 月に学生便覧、シラバスを各学生に配布し履修についての説明を行っている。また、実習前には実習要項を配布し説明を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生便覧は入学時に学生と保護者に説明。成績管理については学生便覧にて学校事務に据え置き（希望者は閲覧）。</p> <p>https://yokohama.hosp.go.jp/school/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の評価は、所定の授業時間を取得した科目により行う。試験は講師の指定する筆記試験、口頭試験、レポート、演習評価等の方法により行う。実習においては、評価表に評価項目および評価基準を記載し、実習指導者、当該実習場所の管理者、担当教員により客観的評価を行っている。</p> <p>評価は、優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)及び不可(60点未満)とし、可以上を合格とする。</p> <p>当該年度に配当された科目評価で合格した科目については学校運営会議の審議を経て、単位認定を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、100点満点で点数化し、60点未満、60～69点、70～79点、80～100点を指標の数値とし、各指標の数値の中に該当する学生の人数を示した。</p> <p>2学年は、下位1/4に該当する人数18名、及び下位1/4に該当する指標の数値73点以下を示した。</p> <p>1学年は、下位1/4に該当する人数19名、及び下位1/4に該当する指標の数値76点以下を示した。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://yokohama.hosp.go.jp/school/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>修得すべき科目 3000時間 102単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://yokohama.hosp.go.jp/school/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nho.hosp.go.jp/files/000178268.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://nho.hosp.go.jp/files/000178268.pdf
財産目録	
事業報告書	https://nho.hosp.go.jp/files/000178268.pdf
監事による監査報告（書）	https://nho.hosp.go.jp/files/000178268.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	看護学科（新課程）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2970/104 単位時間/単位	1710時間/ 73単位	225時間/ 8単位	1035時間/ 23単位	時間/ 単位	時間/ 単位
			単位時間/単位				
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	看護学科（旧課程）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000/102 単位時間/単位	1740時間/ 71/単位	225時間/ 8単位	1035時間/ 23/単位	時間/ 単位	時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	228人	0人	13人	102人	115人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
カリキュラムの実施について、教育主事・カリキュラム担当教員・学年担任により内容、方法、進行についてカリキュラム会議を行っている。
当該年度の授業の実施を踏まえ、次年度に向けてカリキュラム担当教育主事と教員、領域担当教員でカリキュラムの調整会議を行う。その会議後、教員会議にて最終決定する。

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>授業科目の評価は、所定の時間（3分の2以上）を取得した科目について、講師の指定する筆記試験、口頭試験、レポート、演習評価等の方法により行う。</p> <p>実習においては、評価表に評価項目および評価基準を記載し、実習指導者、当該実習場所の管理者、担当教員により客観的評価を行っている。</p> <p>試験及び実習の評価については、100点満点で60点以上を合格とし、学生便覧に評価の規定について明記している。科目評価は、優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)及び不可(60点未満)とし、可以上を合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>当該年度に配当された科目評価で合格した科目については学校運営会議の審議を経て、単位認定を行う。また、定められた授業科目（講義1,965時間79単位、実習1,035時間23単位）の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時の新入生ガイダンス ・全学生対象に担任による年数回（長期休暇前後）の面接、個人面接を適宜 ・進路相談の実施 ・看護師国家試験対策（各学年） ・成績低迷者・希望者に対する学習支援

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
64人 (100%)	2人 (3.1%)	61人 (95.3%)	1人 (1.5%)
(主な就職、業界等) 看護師（国立病院機構、公的病院等）			
(就職指導内容) 1年次:インターンシップ等の案内 2年次:就職ガイダンス、病院見学・インターンシップの案内、国立病院機構関東信越グループによる病院説明会への参加、個別面談によって就職志望先を決定している。 3年次:就職ガイダンス、個別面談による就職志望先最終決定、インターンシップ等の案内、就職相談は適宜実施している。 また、願書作成、小論文、面接指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格、保健師・助産師学校受験資格、看護系大学編入資格、専門士の称号			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
235 人	19 人	8.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・入学前学習の導入 ・全学生対象に担任による年数回（長期休暇前後）の面接、個人面接を適宜実施 ・担当教員による三者面談（本人・家族） ・各学年の学力向上支援、成績低迷者に対する学習支援 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	180,000 円	400,000 円	60,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yokohama.hosp.go.jp/school/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校の教育研究活動及び学校運営全般の改善に資することを目的として学校関係者評価委員による評価検証を実施し、活用する。 方法： ①教員による自己点検自己評価(「教育目的・教育理念」「学校運営」「教育活動」「学修成果」「学生支援」「教育環境」「学生の受け入れ募集」「財務」「法令等の遵守」「社会貢献・地域貢献」「国際交流」)の結果について前年度と比較検討する。 ②学生による「卒業時のカリキュラムに関する満足度調査」を前年度と比較分析する。 ①～②についてその結果を学校関係者評価委員会に報告し、評価を受け学校運営に活用する。 学校関係者評価委員会は次の区分から学校長が委嘱する委員により構成し毎年7月・3月に委員会を開催する。 区分：1. 看護管理者 2. 教育に知見のある者 3. 卒業生 4. PTA 5. その他学校長が必要と認める者 委員会における評価結果は、報告書としてまとめ、学校運営会議に報告後ホームページにて公表を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
看護大学教授	1年	教育に知見のあるもの
中学校長	1年	教育に知見のあるもの

病院長	1年	その他学校長が必要と認めるもの
看護部長	1年	看護管理者
看護部長	1年	看護管理者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yokohama.hosp.go.jp/school/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://yokohama.hosp.go.jp/school/
--